

会議録

会議の名称	第12回新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会実行委員会
開催日時	令和7年9月25日（木）午後7時00分から
開催場所	新城市役所4階会議室4-3
会議の次第	1 委員長あいさつ 2 検討 （1） 討論方法及び情報共有について （2） アンケートについて （3） タイムキーパーについて 3 その他
欠席委員	加藤久美子委員・木戸委員・河合委員

1 委員長あいさつ

委員長からあいさつがされた。

2 検討

(1) 討論方法及び情報共有について

委員長	それでは討論方法について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 前回の会議では、おおまかな内容が決まったことから、その方向で案を作成した。〇×がテーマ関連と人柄関連で分かれたが、前半のテーマ関連の〇×を、以前の実行委員会で、目立った政治課題がない今回は浅め広めで聞きたいという意見が強かったことから、設問数を多めに設定をした。 ・ 〇×に人柄が入ったことから、自己紹介の時間を半分に短縮している。前回の会議でも意見があったが、4年前の開催後にも導入部が長かったという意見を多くもらったため、極力短く設定している。
委員長	今回は、討論方法の2人版が確認できればと思います。内容と順番は前回同意が得られているため、時間と数の意見交換で微調整していければと思います。
委員長	導入部が現在10分程度ですが、これ以上長くしない方が良いと思いますが、いかがでしょうか。
委員	長く感じる要素があるとすれば、情報共有の3分をどう感じるかだと思います。
委員長	難しい話を3分聞くのは人によっては。
委員	テーマの〇×5問は多くないですか。 テーマ討論の時間がありますので、作る方も大変ですし。
事務局	人口はまだしも財政の設問作りは難しいと思います。
委員	財政に絡めて作る感じですか。
委員	最初の情報共有の内容次第で、それによって質問も変わってくるような。

委員長	では、先に情報共有の資料を見ますか。
事務局	ではそちらの説明をしますが、資料はすごく多いです。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 前回の会議で、情報共有を含めて人柄に関する〇×質問以外の情報については、あらかじめ立候補予定者に伝えるということで整理がされた。財政と人口の情報共有として適切な情報とその量を決めたい。 ・ 4年前は、情報共有の内容は当日まで公にしなかった。理由の1つとして、その情報が討論内容の誘導になることを危惧したというところがあった。 ・ 舞台上の主役は立候補予定者であるため、各立候補予定者の時間を増やすことが理想である。 ・ 実行委員会としては、公平・公正が第一のため、短時間で、客観的な、核となる情報のみを対象にしたい。目安としてはテロップ3枚程度かと思う。 ・ 資料として、令和6年度版新城市統計書の人口と財政に関する部分、令和6年度版ザイセイの話、令和2年度に出された新城市人口ビジョン、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計を準備した。
委員長	想定では、この資料を使って情報共有の内容を決める想定だったということですね。
事務局	そうです。量が多いですが。 気になったところを挙げていくくらいでしょうか。
委員	誘導にならないようにと考えると、手を加えるより今ある資料を出す方が良いと思います。本来であれば分かりやすく加工する方が良いのかもしれませんが、その方法によっては、有利不利のような話が出てくる可能性もありますので。 見にくいですが。
委員長	加工はしんどいので、今ある中で選ぶ形が良いですが、この中で選ぶのであれば、年齢別人口が分かる資料・流入と流出か社会増減と自

	然増減の分かる資料、人口推計がオーソドックスな選び方かと思います。
委員	そのくらいだと思います。 流出は近隣自治体が多いということが分かると良いと思います。ここ数年の傾向が分かるようなグラフがあればそれが良いです。
委員	現在の年齢別人口とこれからの予測が良いです。
委員長	加工はどうですか。事務局の手間がかなり増えますので。
事務局	実は、4月1日時点の人口ピラミッドと新城市の人口推計のグラフはもう作成しました。この2つは使うだろうなという想定で。
委員長	その2つがあるのであれば、もう一つとして連結人口増減数の推移が自然増減と社会増減が分かるページになっていますので、そこが良いと思います。
委員	異論ありません。
事務局	どういう説明をするかですが。
委員長	長くて1枚で1分として、短くできるのであれば短くしたいです。
委員	グラフの形であれば、簡略的でも十分伝えられると思います。
委員長	皆さんどうですか。
委員	プロジェクターでは移さないのでしたよね。
事務局	会場では、資料の一部として紙で渡す予定です。画面上はテロップとして映してもらいます。
委員長	財政をどうしましょうか。
委員	円グラフにして分かりやすくする方が良いですか。
委員長	円グラフは単年度としては分かりやすいですが、変化は分かりにくいです。今の財政が分かればよいということであれば。
委員	今が分かれば良いと思います。 これまでの変化を出しても。歳入の内訳と歳出の内訳と経常収支比率が良いです。
委員長	どの資料ですか。
委員	ザイセイの話の3ページ目です。使い方を選択できる予算がどのく

	らいあるのかというものです。人件費や公債費など確実に必要な経費が9割あって、市長の政策的な、マニフェストとして使える予算は10%しかないという現実は大切なことだと思います。 一般の方は、どういう歳入歳出かは分かっていけませんのでその内訳が良いと思いました。
委員長	民間企業の目線からすると、貸借対照表のようなものはどの辺ですか。
事務局	会計の考え方が違って、貸借対照表のようなものはないです。
委員長	累計で見るとは、借金の額や建物価値の総計がどのくらいなのかなどですか。
事務局	償却がないため、評価は取得時の評価しかありません。
委員長	では古い建物も取得時の価格で。
事務局	台帳はその価格です。
委員長	そうですか。すごいですね。
事務局	企業会計は、減価償却はありますが。
委員	19ページの新城市の予算規模の部分は、どのような動きがあるのか分かりますか。
事務局	単年度で分かりやすいものでいうと、8ページの財政構造の弾力性の経常収支比率で自由に使えるお金が8%程度と書いてあって、この数字良いほど色々なところに使えることになります。
委員	ゆとりがあるということですね。
委員	令和3年の数字が低いのはなぜですか。
事務局	コロナですね。
委員	そうすると年で比較するとイレギュラーが分かります。
委員	近年で見てですね。
事務局	広報で出てくるグラフがあります。
委員長	あれは絶対必要ですね。
委員	それを説明する内容にすれば、広報で見るときに役に立ちます。

委員	市だけではどうにもならないものが分かったと、国の政策として実施しなければいけないものがありますので。
事務局	政策は増えていって、福祉系は広がっていき、入ってくる額が決まっている中で出る額が増えていきます。色々事情はありますが、そうしていくと難しくなります。
委員	ざっくりが良いです。興味はありますが時間はないですし。
委員長	ほのかに掲載したザイセイの話の2ページ分がちょうど良い内容になっていそうです。
委員	これを分かりやすく説明するのが良いですね。
委員長	これであれば、オーソドックスな資料をオーソドックスに説明することができます。
委員	知らない人のための説明ですから。
委員長	カークランドさんの方からは財政の使い方のような表現がされていましてので言いたいことは言いやすい状況になるのかなと思いますが、どちらかが話しやすくするためのものではないですが。
委員	掲載されているものですから、他のものからあえて選ぶよりは良いです。
委員	ザイセイの話に予算の決め方が記載されたページがありますが、それを会場に来た人には配布しても良いと思いますが。
事務局	画面上には出さないで会場のみということですか。 例えばですが、興味がある方はザイセイの話を視聴後に御覧くださいのようなことを言えば、後から興味のある人は見ることができるので、そういう誘導で良いと思います。
委員長	そのくらいが良いと思います。
委員長	2ページでも良いでしょうか。
事務局	3ページにこだわる必要はありませんので良いです。
委員長	ほのかのページをそのまま使うか、その部分だけ使うかです。
事務局	そこは広報担当と調整します。
委員	ザイセイの話はネットで見られますか。

事務局	見られます。
委員	それであればQRコードを表示すれば。
委員	そこから詳しい情報は見られますね。
委員長	では情報共有の内容はこれでいきましょう。 では、討論方法の時間等について戻りましょう。全体で114分くらいになるように時間調整をしていきたいと思います。 先程の話では、情報共有は3分くらいということとテーマに関する○×5問は多いのではという御意見が出ていました。
委員	14分は長いような。
委員長	結構長いです。
委員	テーマについての自分の政策を話した後に○×ですよ。
委員長	順番としてはそうです。話す時間は3分ですので、主要なことしか話すことはできないと思います。人口と財政でテーマは広いのです。 ○×も補足する時間が長いとだれます。
委員	短く簡潔にした方がテンポは良くて良いです。
委員	核心を突いた質問にしないと消化不良になりそうです。
委員長	質問の質はこちらで良くしないとイケませんが、消化不良になる場合には、テーマ討論の中でお互いに指摘しあうことができます。
委員	質問の数が少ないほど質を上げなければいけないと。
委員長	そういう意味では、4・5問あればおおよそ各トピックスには当てることができるかなと。バランスが良くなってきたと思います。 人柄は少なめに2問、これは現場でアンケートでしたか。
事務局	2問ともアンケートで決めることとするのか1問だけにするのか決めたいと思っています。入口でシールを貼ってもらう計画をしていますので、貼る場所が多くなりますし、混乱しますので、1問はアンケートで、もう1問は実行委員会で決めておくイメージをしています。
委員長	それで良いと思います。2問くらいで良いですかね。場面転換の意

	味も含めて。
委員長	テーマ討論の時間の２０分は、４年間と同じでしたよね。
事務局	そうです。２０分×４回のヘビーな構成でした。
委員長	現場で回す方もヘビーな時間でした。
委員長	その後に自由討論１２分ずつとまとめということで、皆さん問題がなければ事務局案のとおりで良いと思いますがいかがでしょうか。
委員長	では、討論方法については決定したいと思います。

(2) アンケートについて

委員長	それでは当日の役割について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 討論会視聴後のアンケートの実施方法と内容を検討したい。 ・ まず、実施方法について、会場で配布する資料にＱＲコードを載せてそちらからのアクセスの方法は問題ないと思う。紙媒体は用意するつもりではある。しかし、使い捨てのタイプの鉛筆は用意できるが下敷きとなるバインダーのようなものはないため、机を用意すると机の数と混雑が心配となる。 ・ アンケートの案を作成してみた。４年後の検討の際に参考になる要素を考えてみたが、他の情報の要否、量の適否等御意見をいただきたい。 ・ 以前話に出た兵庫教育大学の研究としてのアンケートについては、市のアンケートの中身に盛り込むようなものとはせず、配布資料等に二次元コードを記載する等アンケートページへのアクセス方法に関する対応を考えている。 ・ アンケートの属性情報として今回は地区の情報を入れた。遠い地区からの来場の有無等の参考にできることを想定している。また、各項目の回答を必須とするかということについては、全て必須ではないこととして回答しやすいようにしている。
委員	会場は、何人入りますか。

事務局	大ホールなので最大で1、300人程度ですが、ティーズの撮影場所・運営側の場所が必要ですが、部分的には座れません。
委員	8年前は、作手が8割くらい埋まったような。
事務局	以前話を聞いたときには、大ホールの前の方は埋まったということでした。半分程度が埋まる想定とすると、数としては500人程度です。
委員	もう少し来ると思いましたが、案外少なかったです。
委員	紙の準備については、全席分ではなくある程度の量で良いですね。
委員長	基本的には、二次元コードからのオンライン回答で、そちらからの回答ができない人は係の人に声をかけてとするような形で良いと思います。最初から、紙がありますよとするのではなくて。
事務局	来場する年齢層は上の方が多いと思いますので、そこが悩ましいですが。 正直なところ、集計を考えるとオンラインの方が断然良いです。読めない字や丸がどちらについているのか分からないようなものもありますし。 来場者を考えるとどかしいですが。
委員長	紙はこの場所にありまして案内をして、そこでの混雑はやむを得ないと思います。
委員	資料の配布時に渡す方法もありますが。
委員長	紙の回答が増えてしまいますし、全員に紙とペンを配ることもなってしまいます。
委員	年配の方が多いです。
事務局	紙の弱点は書く場所をどうするかですが、バインダーのようなものがない状態で、特に高齢の方が下地の不安定な中で書くのは。
委員	そこまでの心配はないのでは。
事務局	膝に乗せて書いたりするような。
委員	単体では書きにくいですが、資料の厚みを下敷きにできるかなと。
委員	アンケートのときは、実行委員は何をしていますか。

委員長	最後の部分ですので、司会の人以外は役割が終わっています。
委員	アンケートにどのくらい力を入れるかですが、職場では、人が多くいる場合には二次元コードを大きく記載した紙を持って回るか、出口で見せて、出口で読み込んで帰ってもらうようなことをしています。
事務局	良いですね。
委員	高齢者の方も意外とスマホを持っていますよね。
委員	開くところまでお手伝いしてあげればよっぽど。
委員	それでもどうにもという人には紙を案内して。机やバインダーが少しあれば。
委員長	7、8人が出入口で。
委員	アンケートにどこまで力を入れるのかですが。
委員	来てくれた人の意見は貴重だと思います。ある程度アンケートが採れていないともったいない。
委員	最後の声掛けも参加した感につながるのかな。
委員	主要な出口のところで。
委員長	紙に関しては先に配るか、必要な方のみとするか、全くなしとするのか。配りますか。
事務局	紙を配ると鉛筆はどこかとなりますよね。
委員	使い捨てのものはいいですか。
事務局	思ったより高くて。想像の3倍くらいすると思います。
委員長	残っているものがあれば良いですが。
事務局	既存の物は意外と少なくて。来場者全員に配れるほどはないです。
委員	どのくらい重く見るかですね。
委員長	方法としては、全員に聞くのは厳しいので、張り紙で、紙で書きたい人はこちら、とっておくくらいでしょうか。
委員	そうしましょう。
委員	回答期限はいつまでか伝えないと。
事務局	期限は、10月末までで設定しました。

委員	当日中にアンケートに答えてお帰りくださいとしたいです。
事務局	期限を長めにした理由は、動画で見る人を想定したからです。
委員長	期限としては良いと思います。会場の方には、直後にお願いしますとすれば良いです。
委員	二次元コードを紙で配った方が。
事務局	配ろうと思っています。
委員長	それで良いと思います。
委員長	内容はどうですか。
委員	関心が高まったかの問いですが、端的に次も見たいかとしてはどうですか。
委員	参考になりましたかと少し類似する感じがします。
委員	継続の必要性について。
委員長	このアンケートはティーズやY o u T u b e で見た人も回答できるようになっています。
委員長	開催の必要性のアンケートもあり得ますが。
委員	会場で聞きたいと思いますか、はどうですか。画面上で見た人も会場で聞きたいという人が増えたら会場での開催に意味があったと分かりますので。
委員	それならそのまま問6の位置に。
委員長	そうですね。そうしたら、次回はどの媒体でご覧になりたいですかという形としますか。
委員	それでも良いですね。
委員	見たくない、の選択肢もつけておく方が。
委員長	それでは、その修正でいきましょう。

(4) タイムキーパーについて

委員長	次回は、質問内容を具体的に決めるため時間がないと思います。 今回、タイムキーパーの練習もしたいと思います。触っておきましょう。
-----	---

委員長	当日は3人でしたか4人でしたか。
事務局	全体時間に2人、個別の発言時間に2人で想定しています。
委員長	それぞれが代わりながら行っていきますか。
事務局	実際の動きは迷ってしまして、ただ、1人に任せてしまうと押し忘れがあったときに困るので、ストップウォッチは全員持ってもらい、2人で同じように動きながら、調整をしながらで考えています。
委員	全体は各討論時間の全体の意味ですか、討論会全体の意味ですか。
事務局	各討論時間の意味です。20分ごと、12分ごとの意味です。
委員長	場所としては1列目か2列目ですか。
事務局	1列目は物を置くことがダメということでしたので、2列目です。
委員	ベルは準備しますか。
事務局	準備します。どのタイミングで鳴らすかという問題もあります。2分時点で鳴らす、2分が過ぎて10秒程度で鳴らすようなパターンが考えられます。
委員長	私が討論会の運営側として実施するときは、30秒前に1度、終了時に2度鳴らし、そこで強制的に話を切るようなことが多いです。
委員	時間厳守が良いですね。
委員長	時間厳守にしないと匙加減が難しいです。
事務局	4年前の話では、時間が来てからのその人の対応に人間性が出るというような意見もありました。
委員	8年前は、あえてベルを鳴らして終了を伝えるだけにしました。そこからの対応にそれぞれの個性が出ていました。
委員	終了の札は出しますよね。
事務局	出します。その上で強制的に終了をさせるのかですが。
委員長	時間超過をどこまで容認しましょうか。暗黙のルールとして。
委員	それが10秒程度でしょうか。
委員	通常は、時間が来たら急いでまとめと思いますが。
委員長	そうでない人の場合には。

委員	8年前は、時間が公平ではないというクレームがありました。
委員長	そうですね。そこは人柄より公正・公平の観点からしっかりした方が。
委員	時間は最初に提示しますよね。
委員長	もちろん。
委員	その時間的制約を知ったうえでのトーク力なので時間で切ってしまうても。
委員	今回のお二人は議員としての経験からそこは慣れているような。
事務局	悩ましいのですが、討論ですので、質問する側の質問を発言時間を過ぎたからと途中で切ってしまうと、答える側が何を話せば良いかが分からなくなってしまいます。
委員	その場合には、答える側がもう一度整理して質問するよう促す回答をするのでは。
事務局	討論以外の発言時間は強制的に終了しても良いとは思いますが。猶予があれば、時間オーバーしましたねと言われながら短時間でまとめさせてしまえば次の人が答えられます。強制終了をどうするかです。 強制終了とすると次に話す人が1ターン譲る形になります。
委員	次の人に、質問をまとめるよう促させる1ターンを使ってもらえないのでは。
委員長	時間オーバーを許容することは、主宰者としてルール違反を許容することになります。質問をまとめられず答えるべき内容が分からないような場合には、答える側は皮肉を加えながらルールを守って話すように伝えるような対応もできますし、そういう形もありかなと思います。
委員	むしろ質問と関係ないようなことを答える人もいるかもしれません。
委員長	それもそれです。運営側というよりは、ルールに基づいてどういう立ち振る舞いを当事者がするのかという話です。 まとめられないような場合も含めて、そういう人だよということに

	なります。
事務局	そういう場合にその人がどういう対応をするかということが見られる機会になるということですね。
委員長	本人への事前のルール説明の際に、2分で切りますと伝えてほしいです。
委員	残り30秒や20秒程度でベルを1回、時間終了でベルを2回鳴らして発言を終了させますというようなことですね。
委員	会場にいる人には、明確なカウントダウンは伝わりますか。
事務局	残り時間の紙を掲げての表示ですので明確なカウントダウンは分かりません。
委員長	会場向けの、スポーツ用のような全体時間のタイマーはどうになりました。
事務局	1つ準備をしてみたのですが、動かしてみたところ、カチッカチッと鳴る音が思った以上に大きく響いて良くなかったのもので、モニターに全体時間を映す対応をしようと考えています。
委員長	タイムキーパー的には、できるだけ対応・動きが少なく全体時間がしっかりと共有できるのであればその方が良いです。
事務局	紙を掲げる形はやりますよね。
委員長	もちろん。
事務局	個別の時間は、タイムキーパーで、アナログで対応すると。
委員長	それで良いと思います。
事務局	30秒前で1度鳴らしますか。
委員長	鳴らした方が良いです。
委員	そこでまとめさせて。
委員	政策説明のところとの違いが分かりませんが。
委員長	テーマ討論のときは、20分間片方のコーディネートで話を聞く形ですが。 そうすると、この場面では主導権が当事者になってしまうからこちらで止められないのか。

委員	主導権は向こうです。
事務局	ですので、猶予時間の話をしました。ただ、2分で切るというのも一つの方法です。
委員長	そうするとこちらからお知らせするだけの方が良いでしょうか。
委員	実際の進行はどうなるのですか。
事務局	一方が質問をしてもう片方が答える、それを受けてまた質問をしてまたもう片方が答える、が繰り返される形です。
委員	最初の問いかけをどちらかという違いですか。
事務局	20分ずつ話の主導権を握ってもらって進めることになります。司会者兼質問者兼回答者となるAと回答者Bの関係です。
委員	そうすると20分だけ計っておけば良いのでは。
委員	そうすると一方的に。
事務局	そうです。一方が話し続けられるようにしてしまうと討論になりませんので、目安は2分か3分かとして。
事務局	あくまで目安とした方が良いのか、主導権の握り方もあるので。
委員長	前回そこについては議論しませんでしたので。 こちらで話す時間を決めるよりは20分好きなようにとの方が良いのか。
委員	2人の話している姿を見せて、初めに話す人の切り口で変わっていくと思いますので。
事務局	目安時間もなしとする案ですか。
委員長	目安時間だけ伝えて。
事務局	そうすると2分経過で終了の紙を掲げるけれどあくまで目安として様子を見て、次の人が始まったらカウントダウンを始めてということですね。 あまりに長くなりすぎたら警告を出す想定はしていますが。
委員	その長さをどのくらいとするかですか。
委員長	イメージは30秒程度ですが。
事務局	その時点で終了を促す。

委員長	討論以外については30秒前に1度、終了時に2度鳴らして終了させ、討論については終了時に一度鳴らしてその後30秒経過したら2度鳴らすような。
委員	8年前は、あまりに長い場合には鳴らすのではなく司会が促していました。
委員長	それであれば、終了だけ上げつづけておいて終了を促す方が良いです。 討論としてはその方が良いですね。
事務局	今は2分を前提に話をしていますが、討論のときは2分が目安ということで。
委員	そういう話を当事者に伝えておけば良いですね。
事務局	課題としては終了のタイミングを司会側が正確に把握できるかが課題になります。終了が掲げられたタイミングを見逃すといつからかが分からなくなるので。
委員長	司会が頑張ります。
委員	時間終了のタイミングで終了のベルを鳴らせば把握できます。
委員長	30秒前と終了時のベルを統一しておけば対応できますね。
委員	当事者にスマホで計らせてやらせる方法も。
委員長	性善説としてはそれで良いですが、こちらとしては性悪説での場合も考慮しておかないと。長く話しても止められないということになれば、それに乗じて長く時間を使うようなこともできてしまいますし。それが視聴する側の目にどう映るのかは別として。
事務局	悩ましいですね。
委員長	基本は、主導権を委ねる形で。
委員	そうですね。
事務局	では、2分を目安として、長くなりすぎた場合には終了を促す形ですね。
事務局	討論に入る前に、説明で闊達な議論のため長くなりすぎないように

	と入れると良いですね。
事務局	ストップウォッチはカウントダウンでの形かアップの形かどちらが良いですか。
委員長	ダウンだと設定に時間を取られたりしますし、間違えそうですのでアップの方で。
委員	毎回時間をリセットして1から数えていくのですね。
事務局	1つ決めておきたいのは、どのタイミングで計り始めるのかが人によって違うといけませんので、話始めた瞬間に押すことにしておきたいと思います。2人とも押すことでミスを防ぐということで。
委員長	2時間個別時間を計り続けることはきついの、休める時間を作らないと。交代しながら進めるとミスが減ると思います。
事務局	それで組みたいと思います。 全体時間と個別時間の掲げる場所は固定して、左が全体・右が個別として、席を変えながら。
委員長	説明の時間が長いときや討論の途中の休憩時間で入れ替わりができるトリフレッシュできます。
委員長	ではこの方法でいきましょう。

3 その他

次回の日程

10月2日（木） 午後7時から